

令和8年度 事業計画

当協会は、昭和58年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してまいりました。その後平成10年4月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始するとともに、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」と改めました。また、平成18年4月に、財団法人名古屋市学校給食協会との統合により学校給食事業を、平成22年4月に財団法人名古屋市体育協会との合併によりアマチュアスポーツの普及促進をそれぞれ担うこととし、同年、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に変更しました。さらに、平成25年4月に公益財団法人に移行し、「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」（以下「協会」という）と名称変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため幅広い事業を展開しているところです。

令和8年度は、指定管理施設26施設（スポーツ施設17施設、生涯学習センター9施設）の管理運営事業をはじめ、スポーツ振興等に関する事業、受託するトワイライトスクール・ルーム218校の管理運営等の学校開放事業、野外教育事業、学校給食事業に取り組みます。

また、2026年に愛知・名古屋で開催される第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向け、市民の機運醸成を図るとともに、競技会場等として使用される施設の適切な管理運営に努めます。

事業の実施においては、「第6次経営戦略計画」（計画期間：令和8年度～12年度）の初年度となることから計画に定める経営ビジョンの実現に向け、より一層魅力ある事業展開とともに経営改善に取り組みます。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、引き続き様々な取組みを進めていきます。

（経営ビジョン）

“信頼を重ね、すべての市民に支持されるパートナーをめざします”

わたくしたちは、常に先を見据え、市民一人ひとりが生涯にわたって学び、スポーツに親しみ、自主性と社会性を育み・高める機会を提供します。地域とのつながりを深め、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりに貢献するとともに、継続的な人材育成と安定した経営基盤の確立により持続可能な組織をめざします。

以上の経営ビジョンのもと、協会のこれまで培ってきたノウハウと職員的能力を最大発揮して、次に掲げる事業を実施します。

記

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり
 - 3 スポーツ大会・講習会等の開催及び協力
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供
 - 5 スポーツ功労者の表彰
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化
 - 7 体育施設の管理運営
 - 8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組

- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
 - 1 トワイライトスクール
 - 2 トワイライトルーム
 - 3 生涯学習センター
 - 4 その他の学校開放等事業
 - 5 野外教育事業
 - 6 科学教育事業

- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業
 - 1 学校給食用物資の調達
 - 2 給食を通じた食育の推進

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び名古屋市における競技力向上を担う優秀な指導者並びに審判員等の計画的な養成及び資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する指導者並びに審判員養成事業について補助を行う。

(2) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」と、ジュニア選手への検診や選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を行う。

(3) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行う。

(4) 学校部活動支援業務

中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡部会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行う。また、協会の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における合同練習等を目的とした交流会場を優先的に確保・提供する支援を行う。

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市が策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行う。

(1) スポーツ教室等の開催

① 開催方針

スポーツ・レクリエーション活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら、子どもが多様なスポーツに接することのできる教室や高齢者がその健康状態や体力に応じて楽しめる教室、子育て世代・働く世代が参加しやすい教室、障害者スポーツ・ユニバーサルスポーツの教室など、名古屋市の指定した開催方針

に、次に挙げる協会独自の視点を加えて企画し、親子でふれあえる事業やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層を対象に多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催する。

【協会独自の視点】

- ・親子のふれあいを育む「親子スポーツ交流会」
- ・スポーツへの関心や興味を高める「アスリートふれあい事業」
- ・スポーツ施設営業拡大日や利用時間延長を活用してのスポーツ教室等の開催

② 内容

教室の種目や内容、対象等によって、特定の期間を定めて開催する「定期教室」と、大会・イベントや1回ごとに気軽に参加できる事業などの「随時・体験型」とに区分して開催する。

区 分	内 容	会 場
定期教室 (内 通年)	水泳教室始め 395 教室 (ジュニアソフトテニス教室始め 39 教室)	総合体育館始め 11 施設 (露橋スポーツセンター始め 7 施設)
随時・体験型	エアロビクスレッスントライム始め 294 事業	総合体育館始め 11 施設

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室 (10 施設) において、トレーニング器具やビデオ装置などを活用し、健康・体力づくりを目的としたトレーニング指導事業を行う。初心者には安全で効果的なプログラム、継続者には体力、目的に合ったプログラム、高齢者には運動機能の維持向上をめざすプログラムなど、市民ニーズに応じた幅広いプログラムの提供を行う。

また、温水プール (9 施設) において、水泳、水中エクササイズ、水中ウォーキングなどのワンポイント的な指導事業を行う。

② スポーツ指導者派遣事業

保健センター等地域の機関、団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導、各種スポーツ大会での準備運動指導などニーズに応じてスポーツ指導者を派遣し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の支援を行う。

また、派遣するスポーツ指導者の資質向上を目指し、健康運動指導士・スポーツプログラマーの資格取得を推進する。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施する。

相談区分	内 容	施設・回数	相談員
スポーツ医事	メディカルチェック及び運動負荷検査を行うことにより、健康状態を把握し、適切な運動強度の提供や生活習慣病の改善等について総合的なアドバイスを行う。	総合体育館 年4回	内科医師
スポーツ障害	スポーツ活動にともなう怪我の予防、既往症等に対する安全な運動方法について、身体のしくみなどを中心にアドバイスを行う	総合体育館 年4回	整形外科医師
健康・体力づくり	健康・体力づくりについて、面談や相談カード等を通じて日常的にアドバイスを行う	総合体育館始 めトレーニング室 を有する施設 随時	協会職員 (スポーツ プログラマー等)

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会や体験教室、スポーツ少年団の指導者・リーダーを対象とした研修会の開催や入団案内などを通じて、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動を支援し、スポーツ少年団の普及促進を図る。

3 スポーツ大会・講習会等の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行う。

(1) スポーツ大会等の開催

市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施し、日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりをする。

主な大会等予定一覧

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第109回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和8年4月	千種スポーツセンター	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
第61回 春の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和8年5～6月	守山スポーツセンター他	市内在住 25歳以上の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
なごや マスターズ 水泳大会 2026	年齢30歳以上を対象に、日頃の練習成果を発揮する場としての競泳競技会	令和8年5月	総合体育館レインボープール	年齢30歳以上	名古屋市 名古屋市水泳連盟 中日新聞社
スポーツ体験事業	有名選手やトップチーム等によるふれあい教室や公式戦観戦を通じスポーツ活動の活性化を目的とするスポーツイベント	令和8年5月～ 令和9年3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小中学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中体育連盟
第82回 市民卓球選手権大会	身近なスポーツである卓球を通して市民相互の友好と親睦を図る大会	令和8年6月	名東スポーツセンター	市内在住 在勤 15歳以上	名古屋 市卓球協会
でらスポ☆ アリーナ	小学生を対象に名古屋を拠点に活動するトップスポーツチームの選手・コーチから直接指導を受けることにより、スポーツを始めるきっかけとなるようにするスポーツイベント	令和8年6月	総合体育館レインボーホール	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋トップ・スポーツチーム連絡部会

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 68 回 市民スポーツ祭	市内各スポーツ施設等において実施する多彩なスポーツ大会	令和8年 5月～ 令和9年 3月	市内スポーツ施設等	一般の部 始め5部門	名古屋市
ニチレイチャレンジ 2026泳力検定 名古屋大会	水泳教室参加者始め、一般水泳愛好者を対象とした泳力検定会	令和8年 6月	総合体育館レインボープール	泳力検定 希望者	名古屋市水泳連盟
第 61 回 秋の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和8年 11～12月	守山スポーツセンター他	市内在住 25歳以上の女性	名古屋市 名古屋女性レクリエーション バレーボール連絡協議会 名古屋レクリエーション協会 中日新聞社
レッツエンジョイスポーツ 絵画コンテスト 2026	小学生対象のスポーツに関係した絵を題材としたコンテスト	(募集・表彰・展示) 令和8年 8月～ 令和9年 3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会
第 110 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和8年 10～11月	千種スポーツセンター	小学生以上	名古屋市 名古屋レクリエーション インディアカ連絡協議会 名古屋レクリエーション協会
スポーティブ・ライフ月間事業	スポーツの日を中心とする秋季に行うイベント事業や各種のスポーツ普及・啓発事業	令和8年 10～11月	市内スポーツ施設等	期間中 自由参加 (一部事前 申込有)	名古屋市 市スポーツ施設指定管理者 名古屋トップ・スポーツチーム連絡部会
	名古屋を拠点に活動しているトップチームの指導による「でらスポ☆スタジアム」をはじめとする各種スポーツイベント	令和8年 12月	瑞穂運動場		

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
スポーツ 講演会	地元ゆかりの代表選手等 による講演会	令和8年 11月	市内スポーツ施 設等	自由参加	名古屋市
なごやカップ ミニ駅伝大会 2027	職場やサークル仲間等と 気軽に参加できる駅伝大 会	令和9年 2月	瑞穂運動場及 びその周辺	中学生以上 (5人1チーム)	名古屋市
なごやマスターズ レクリエーション バレーボール大会 2027	生涯スポーツの実践とし てレクリエーションバレ ーボール経験者が参加す る大会	令和9年 2月	総合体育館	150人	名古屋市
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2027	名古屋ウィメンズマラソ ンと名古屋シティマラソ ンを併催し、エリートラン ナーから市民ランナーま で目的や体力等に応じて 参加できるマラソン大会	令和9年 3月	バンテリンド ームナゴヤ、 白川公園、瑞 穂運動場及び その周辺	未定	日本陸上競技連盟 愛知県・名古屋市 中日新聞社

(2) 小学校の水泳指導への協力

学校外プールを活用した小学校の水泳授業において、協会管理施設の提供及び指導員との調整を行う。

(3) スポーツ・レクリエーション活動への後援

加盟団体並びに名古屋市内に活動の拠点を置くスポーツ・レクリエーション団体が開催する各種大会や競技会等に対し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の健全な発展を援助することを目的に後援する。

(4) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立され、一般社団法人化された「名古屋スポーツコミッション」の会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツと文化・観光を組み合わせたスポーツツーリズムの推進等に協力する。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施する。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者の安全・安心・快適に配慮し、より親しまれる施設を目指す。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」及び「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行う。

② ホームページの運用

ホームページにて、各事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行う。各施設の特長や出来事についてはブログを活用するとともに、YouTube NESPA チャンネルにおいては、魅力ある事業紹介や活躍が期待される地元選手の紹介、デジタル料理教室などバラエティーに富んだ動画の公開を行うなど、協会の取組みを広く発信し、集客に努める。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

各事業の取組みやイベント情報、スポーツ教室等の受講者募集や各施設の休場案内等をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、定期・不定期にメールマガジンを配信する。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、Instagram や Facebook、X など SNS の特性を活かした情報提供を行う。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベントなど、耳よりな情報を満載した施設だより等を発行するほか、各施設ホームページやロビー等にてデジタルサイネージを活用し、事業 PR を行うなど、施設に関する情報発信に取り組み、利用者の増加を図る。

⑥ スポーツ資料展示室の運営（スポーツ振興会館 2 階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、名古屋市と連携して、本市で行うスポーツイベントや、話題性のあるスポーツに関する資料を収集し、常設展及び企画展を行う。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館 1 階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じるほか、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立つため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供する。

5 スポーツ功労者の表彰

地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営及び事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰する。

区 分	内 容
表彰の対象	(1) 地域スポーツ及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの (2) 選手育成及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの
表彰の時期	令和8年12月

なお、競技会等で優秀な成績を収めた選手については、名古屋市スポーツ功労者表彰において名古屋市とともに表彰する。

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

加盟団体が主催・主管する各種大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催し、意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与する。

7 体育施設の管理運営

(1) 管理運営の方針

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、体育施設17施設の管理運営を行う。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努める。

さらに、市民のスポーツ施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツの機会等を増やすことで、より親しみやすく開かれた施設を目指す。なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の2者で実施する。

(2) 目標利用者数

施設名	指定管理期間	目標 利用者数	(内数)	
			トレーニング室	温水プール
総合体育館 ^{※1}	令和 5 ～ 9 年度	1,348,000	39,200	85,300
露橋スポーツセンター ^{※1}	令和 5 ～ 9 年度	221,000	51,700	29,000
枇杷島スポーツセンター	令和 7 ～ 11 年度	349,000	84,300	57,900
稲永スポーツセンター ^{※1、 ※2}	令和 5 ～ 9 年度	68,000	17,300	—
北スポーツセンター	令和 5 ～ 9 年度	278,000	75,400	73,100
中村スポーツセンター ^{※1}	令和 7 ～ 11 年度	284,000	74,500	57,700
名東スポーツセンター ^{※1}	令和 7 ～ 11 年度	231,000	53,500	51,900
中スポーツセンター ^{※1、※2}	令和 5 ～ 9 年度	261,000	86,400	57,200
南陽プール	令和 5 ～ 9 年度	112,000	39,400	54,200
富田北プール	令和 7 ～ 11 年度	97,000	—	68,200
黒川スポーツトレーニングセンター ^{※2}	令和 5 ～ 9 年度	101,000	81,600	—
港サッカー場 ^{※1}	令和 5 ～ 9 年度	25,700	—	—
港プール	令和 5 ～ 9 年度	13,100	—	—
中川プール	令和 7 ～ 11 年度	3,800	—	—
楠プール	令和 5 ～ 9 年度	5,000	—	—
山田プール	令和 7 ～ 11 年度	5,700	—	—
富田プール	令和 5 ～ 9 年度	4,500	—	—
計		3,407,800	603,300	534,500

注：前年度からの上昇率、アジア・アジアパラ競技大会による利用休止、工事による休場を踏まえ設定

※1 アジア・アジアパラ競技大会により利用休止となる施設（総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、港サッカー場）

※2 令和 8 年度中に休場する施設（稲永スポーツセンター、中スポーツセンター、黒川スポーツトレーニングセンター）

8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組

2026年に愛知・名古屋で開催される、「第20回アジア競技大会」・「第5回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進する。

(1) なごやアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会・アジアパラ競技大会での活躍を目指す名古屋のジュニアアスリートやパラアスリートを支援するため、広く市民等から寄せられた寄附金により、アスリートの育成にかかる経費を助成する。

(2) アジア競技大会・アジアパラ競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会・アジアパラ競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施するとともに、協会管理施設やスポーツ資料展示室において独自の展示イベントを開催し、普及啓発及び機運醸成を図る。

(3) 競技会場等の円滑な運営

協会管理施設において、アジア競技大会・アジアパラ競技大会の競技会場等となっている施設では、大会が円滑に実施されるよう施設の適切な管理運営に努める。

【アジア競技大会】

競技	種目	会場名
体操	体操 新体操 トランポリン	総合体育館
水泳	水球	総合体育館
コンバットスポーツ	総合格闘技	稲永スポーツセンター
レスリング	フリースタイル グレコローマン	
サッカー		港サッカー場

【アジアパラ競技大会】

競技	種目	会場名
水泳		総合体育館
ボッチャ		総合体育館
パラフェンシング		稲永スポーツセンター

II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

小学校において、地域で子どもを育てる環境を充実するため、放課後や週末などに子どもたちに遊びや学び、体験活動をさせる放課後学級を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
185 校*	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・放課後学級ルーム ・体育館及び運動場等

※ 受託期間 令和8年度まで：47校、令和9年度まで：53校、令和11年度まで：46校、令和12年度まで：39校

(1) 活動方針

① トワイライトスクールとしての機能拡充

事業内容の充実・活性化を図る。とりわけ、地域の人的・物的資源を生かした特色ある活動や、学生ボランティアをより活用するなどして、子どもたちが学習に興味・関心をもつことができるような「学びの活動」などを実施する。

② 世代間交流事業の展開と体験活動の充実

土曜日を中心とした地域住民との交流や親子参加型の体験活動、地域行事との連携など世代間交流事業の展開を図る。

また、子どもたちの一層の参加を促し、豊富な体験ができるよう、運営指導者や地域協力員の資質向上のための研修を行うとともに、学生ボランティアなどの若い世代の協力による体験活動や、名古屋市科学館、鶴舞中央図書館、エコパルなごやなどの協力による特別な体験活動を実施することにより、体験活動の充実を図る。

③ 学校との連携強化

参加児童の安全確保をはじめ体育館・運動場など様々な学校施設の一層の活用を図るため、学校との相互理解をすすめ、連携強化に努める。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクールが行っている「自主性、社会性、創造性を育む教育的な役割」と、「留守家庭等の子どもが安心やくつろぎを感じて過ごすことができるようにする子育て支援等としての役割」の双方を併せ持つ事業を小学校施設内において一体的に

実施する。

実施校	趣 旨	内 容 等
33校※	<p>すべての子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組みを行う。</p> <p>また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。</p>	<p>①対象者 1年生から6年生までの児童</p> <p>②活動場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフルーム（生活面を重視した部屋） ・プレイルーム（活動を重視した部屋） ・体育館及び運動場等

※ 受託期間 令和8年度まで：10校、令和9年度まで：14校、令和12年度まで：9校

3 生涯学習センター

(1) 施設の管理運営

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター9施設（千種・北・西・中村・瑞穂・熱田・港・南・名東）を管理運営する。

(2) 管理運営方針

安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行う。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努め、生涯を通じた学習活動を支援する。

また、自主学習グループ等との連携により、趣味・教養、食・運動など市民ニーズが高い講座を実施する。

(3) 目標利用者数

施設名	指定管理期間	目標利用者数
千種生涯学習センター	令和7～11年度	88,900
北生涯学習センター	令和7～11年度	109,700
西生涯学習センター	令和7～11年度	76,500
中村生涯学習センター	令和5～9年度	74,700
瑞穂生涯学習センター	令和7～11年度	73,400
熱田生涯学習センター	令和5～9年度	63,100
港生涯学習センター	令和5～9年度	54,500
南生涯学習センター	令和5～9年度	66,400
名東生涯学習センター	令和5～9年度	60,000
計		667,200

注：前年度からの上昇率等を踏まえ設定

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校 25 校で体育館、運動場、特別活動室、音楽室、図書室、プール等を開放する事業を実施する。

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるよう、次の事業を行う。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行う。

区分	校数	参加予定人数	対象	場所
小学校	259	19,752	5年生	名古屋市中津川 野外教育センター
特別支援学校	4	197	小学部5年生 中学部2年生	
中学校	111	16,957	2年生	名古屋市稲武 野外教育センター
計	374	36,906		

※ 実施時期 令和8年4月20日（月）～11月13日（金）

※ 参加予定人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣する。

※ 派遣期間 令和8年7月20日（月・祝）～8月30日（日）

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を行う。また、科学教室の中で、小・中学生とその保護者を対象にした親子教室を行う。

区 分	コース数	募集人数	時 期	活 動 場 所
野外観察	19 自然の部16 社会の部 3 (親子教室 16 を含む)	724	7・8・12月	鳳来寺、伊吹山、瑞浪、 赤坂、高座山、粟代鉦山、 ふじはし、中津川、 師崎、長浜、郡上八幡、 セントレア
プログラミング	6 (親子教室 4 を含む)	240	8月	スポーツ振興会館
製作・実験	13 (親子教室 5 を含む)	432	7・8・12月	小・中学校 スポーツ振興会館
計	38	1,396		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行う。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
名古屋市立小学校	259 校
名古屋市立鳴海中学校	1 校
名古屋市立特別支援学校	5 校
愛知教育大学附属名古屋小学校	1 校

※ 上表のほか稲武野外教育センターの給食物資の一部を調達

※ その他名古屋市立中学校の牛乳代金の授受に関する事務を実施

(2) 学校給食用物資の購入

- ① 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき、良質な物資を年間・学期・月などの契約単位で安定的に調達する。また、より安価な契約となるよう、同等品を複数事業者が取り扱う場合は、競争見積による調達を行う。
- ② 学校給食用物資及び納入業者については、有識者、名古屋市教育委員会事務局、学校関係者等を委員に招聘した学校給食用物資委員会での審査を経て登録・管理する。
- ③ 食の安全への配慮から、購入物資に関してアレルギー物質や食品添加物の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供するとともに、アレルギー物質や食品添加物の使用がより少ないものを納入・製造業者とともに開発し、学校給食用物資委員会に提案する。
- ④ SDGs にもつながる人と環境にやさしい物資の調達に努めるため、有機栽培や農薬・化学肥料の使用を抑えて栽培された青果物・その加工品の使用を促進する。
- ⑤ 食品ロスの削減のため、前日午前までに連絡を受けた学級閉鎖については、納入事業者と調整の上、調達済み物資のうち対応可能なものについて、物資の数量調整を行う。
- ⑥ 協会の整備した「学校給食食数入力システム」により、日々の献立に使用されている食材の原材料の詳細情報、アレルギー情報等について、各学校と情報共有する。

⑦ 通常献立のほか、校外学習などの学校行事に対応した行事食、学校の希望に応じた献立、児童たちが考えた独自献立、給食調理室や校舎の改修工事による簡易給食、スチームコンベクションオープンでの調理に対応したスチコン献立、災害に備えた非常食等、名古屋市教育委員会の施策として実施する給食に対応した物資の調達を行う。

⑧ 名古屋市教育委員会の開催する学校給食関連の委員会等で試作する献立に必要な食材の調達を行うとともに、委員会等に参加し、食材に関する助言を行う。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

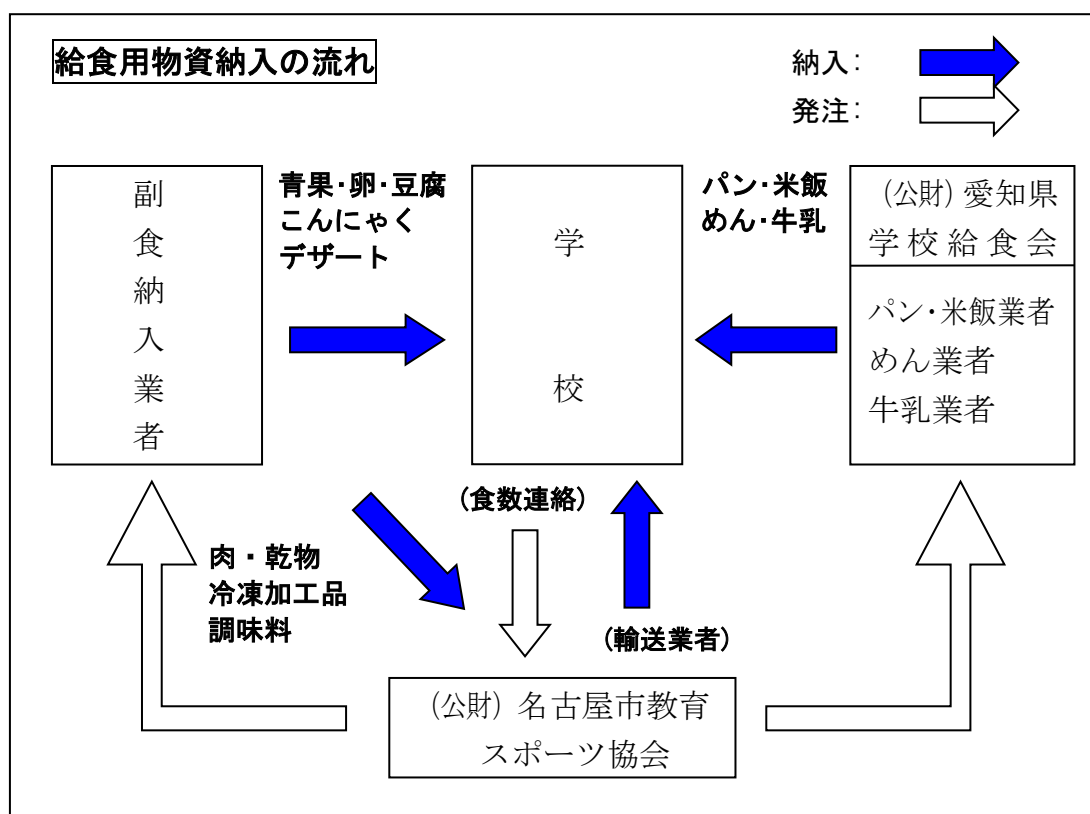
精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資については、学校児童や近隣への安全を配慮し、給食実施当日の早朝に各学校の給食調理室に配送する。また、安全かつ適切な輸送及び、食品衛生管理について、輸送業者への指導を行う。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

① 学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について実地調査を行い、食品及び環境の衛生管理について指導する。また、食品の安全衛生に関する知識や意識を高めるための衛生管理指導会を年2回開催する。

② 学校給食用物資の安全性や品質の確保を図るため、細菌検査や、残留農薬、放射性物質等の理化学検査を実施する。

<参考>



2 給食を通じた食育の推進

(1) 地産地消の推進

学校における食育の推進に寄与するため、学校給食で使用する野菜は、可能な限り名古屋市内産や愛知県内産を優先して調達するとともに、市内産や県内産の食材を使用した加工品についても開発提案を行うなど、地産地消に努める。

また、市町村や地域の範囲を超えて愛知県産農産物を安定的に学校給食へ供給する体制の構築について検討を行うため、愛知県が設置する「県産農産物学校給食導入促進プロジェクトチーム」に構成員として参加し、学校給食への県産農産物の導入促進に協力する。

(2) 「食」に関する啓発事業の実施

① 給食新聞の発行

献立や食材の紹介、児童や保護者の声等を掲載する「なごやの学校給食」を年2回発行し、児童の保護者に配布するとともに、ホームページ上で公開する。

② 料理教室の開催等

小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」を開催するほか、YouTubeで「デジタル料理教室」を配信し、「食」への関心を深める事業を実施する。

③ 給食かるたの活用

「給食かるた」をトワイライトスクール・ルームでの食育活動で活用するとともに、希望する小学校等へかるたの貸出を行うなど、郷土の食文化や地産地消への理解を深める事業を実施する。

④ 給食試食会での保護者説明

協会職員が各学校で実施する新1年生の保護者参加の給食試食会に出向いて、学校給食用物資や物資調達業務に関する説明を行い、保護者の学校給食への理解が深まるよう啓発に努める。